

令和5年度 ^{ぜい} ^{かん} 税に関するだい ぼ しゅう
大募集!^え 絵はがきコンクール

「税」って何だっけ？

税金は、私たちの暮らしのとても身近なものに使われていて、毎日の生活をいろいろな面で支えています。このコンクールは小学生の皆さんにそれらを「絵はがき」にしてもらうことで、まずは「税」という言葉や存在を知ってもらうことを目的として、毎年実施している『法人会』の租税教育活動の一つです。

募集内容

- ★ 税に関する絵（税金でつくられている建物・施設、税金で購入される物品、税金で行われている仕事など）であれば、なんでもかまいません。
- ★ 「専用はがき」に学校名・学年・組・氏名(ふりがな)を必ず記入してください。
- ★ 描画素材は問いません。
文字や標語などの描き入れも可とします。

応募資格 小学校 3～6年生 児童

応募点数 児童1人につき「1点」

応募先 各小学校の担任の先生

応募締切 2023年 9月 5日(火)

連絡・提出先 公益社団法人 芝法人会

〒108-0014 東京都港区芝5-9-5

TEL 03-3453-6351

●芝法人会HP(左QRコード)

<https://www.shibahoujinkai.or.jp/index.php/public/home/ehagaki>

●メールアドレス

adminmail@shibahoujinkai.or.jp



注意事項

- (1) 応募作品に関する権利は、ご応募と同時に主催者である法人会に帰属します。
- (2) 応募作品の返却はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- (3) 応募作品および学校名・氏名等は法人会HPやパンフレット等への掲載、法人会関連の事業において展示することがあります。
- (4) 応募者の個人情報は入選者等への連絡や賞状の送付、展示など「税に関する絵はがきコンクール」「税についての作文」事業のみに使用します。

表彰

入選作品には、賞状および副賞(記念品)を贈呈します。

発表

審査結果(入選作品)は、10～11月頃に学校に通知します。

また、すべての応募作品を芝法人会HPに掲載します。(12月頃)

なお、優秀作品につきましては公益財団法人 全国法人会総連合が実施するコンクールに出展します。

「税」って何だっけ？ 芝法人会の租税教育

小学校 1～3年生	みなと区民まつり等イベントでのクイズやゲームで楽しみながら「税」という言葉に触れる機会を用意	「税に関する絵はがきコンクール」 ◆(公財)全国法人会総連合主催 ◇国税庁後援	税の標語 ◆全国間税会総連合会主催 ◇国税庁・(一財)大蔵財務協会後援
小学校 4～6年生	職場見学等を通じて、「税と社会の仕組みを知る」企画を設定 ＊6年生には『租税教室』を用意＊		
中学校	小学校で知った「税」と社会の関連性についてグループディスカッションし、自分自身の将来を含めて考えてみる ＊思考型『租税教室』を用意＊	「税についての作文」 ◆国税庁・全国納税貯蓄組合連合会主催	

『租税教室』・租税教育企画のラインナップ

租税教室の講師は、港区内 30～40 代の法人経営者で構成されており、全員が講師研修受講者です。自らが地元小・中学校の卒業生であったり、現在お子さんが港区内の学校に通っている方も多く所属しています。

- ★ **訪問授業型** ▶ 講師が学校へ訪問し、教室内で授業します。
- ★ **オンライン授業型** ▶ ICT を活用した、デジタルコンテンツを交えた授業です。
- ★ **移動教室型** ▶ 弊社社会館など学校以外の環境で、より体験型の内容で授業します。

合同表彰式を開催しています

「税に関する絵はがきコンクール」、「税についての作文」、「税の標語」の優秀作品を受賞された児童・生徒のみなさんを対象に、合同表彰式を毎年開催しています。

芝税務署をはじめ、東京都港都税事務所、港区教育委員会、関係民間団体の関係者も出席し、直接、受賞者のみなさんへ賞状を渡します。また、「税についての作文」の代表の生徒には、朗読もしていただきます。

昨年度(2022年度)は、11月16日(水)に、八芳園にて行われ、小中学生の受賞者19名と、保護者の方にご参加いただきました。

司会：芝税務署広報大使 佐藤奈織美(女優)



小中学生の「税についての優秀作品集」を制作しています

「税に関する絵はがきコンクール」、中学生の「税についての作文」、「税の標語」の優秀作品集を制作し、芝税務署管内の公立小中学校(2022年度は47校・7,267名)に配付しました。

2021年度、コロナ禍により表彰式が開催できず、せめてもの代わりにと制作したこの優秀作品集ですが、大変好評だったため、2022年度も引き続き制作することとなりました。

優秀作品には「感動ボイス」として、審査する上での一言コメントも掲載していますので、ぜひ今後の参考にしてみてください。

